

# 磐梯山・表ルート山行報告

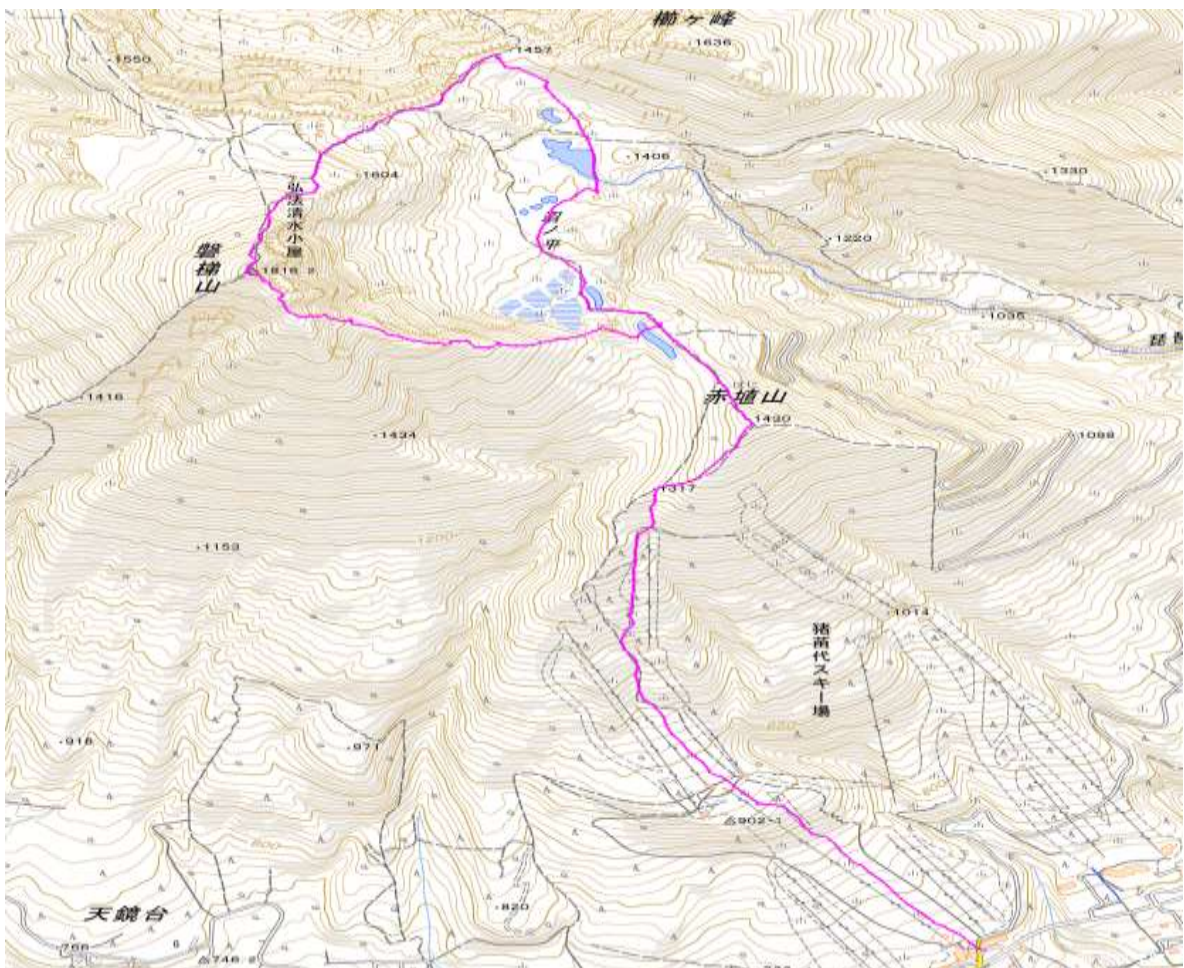
【日時】 3月14日(土)、3月15日(日)

【天候】 3月14日(土)小雨、3月15日(日)小雪後晴れ

【行程】 3月14日(土)猪苗代スキー場P→赤埴山→沼ノ原(幕営)  
3月15日(日)幕営地→磐梯山東尾根→弘法清水小屋→沼ノ平→  
沼ノ原(幕営地)→赤埴山→猪苗代スキー場→帰葉

【参加メンバー】 江橋(CL)、小俣、飯田

【内容】



猪苗代スキー場からリフトを乗り継いで行けば2時間余りで幕営予定の沼ノ原に到着するだろうから、テントを設営したら夕食までの間をどうしようなんて余裕で考えていたら、スキー場はすでに営業が終了しており、リフトは動いてないと情報があり、余裕はどこかへ飛んで行ってしまった。



スキー場に到着すると、スキー場に雪がない！スキー場の人たちが後片付けで忙しそうだ。営業していないスキー場に音楽が空しく流れている。乗るはずだったリフトを横目にゲレンデを登って行く。視界が悪く、GPSでルートファインディングしながら幕営地を目指して約5時間ひたすら歩くのみの初日でした。3月は自分の誕生日で、鍋料理で盛大に祝ってくれました！ありがたや、ありがたや。



2日目の朝はうどんでお腹を温めてから出発した。表磐梯山の東尾根を頂上目指して歩く。風は強くは無いが、視界が悪く10M程度しかない。雪庇を踏まないように気を付けながら尾根通しに頂上を目指す。登山道ではないので藪がひどい。漕いでも漕いでもヤブの尾根だ。



高度も上がり痩せ尾根が多くなると歩くのも慎重ならざるを得ない。ワカンからアイゼンに履き替え、雪庇を踏まないように木を目印に先を進める。視界が悪く眺望が全くないので、ただただ歩くのみなのだ！天候が良ければ磐梯山の火口が見えそうなものだが・・・GPSで位置と等高線を確認しながら進めるしかない。

ピークまで残り30Mになるとエンジン全開！一気に登り詰めた。頂上は強風で一休みとはいかず、写真を撮ってサッサと裏磐梯のトレースなぞって降りた。



チェックポイントの弘法清水小屋を目指して降り始めて1時間もしないうちに急に日が差し始め、雲がどんどん薄くなり晴れてきた。なんでやねん！裏から登ってくるパーティーに何組もすれ違い、その中で裏から登って表に降りるといふ人がいました。それも日帰りです。すごい人がいるものだと感心しきりなのでした。





引き返して頂上から 360 度の絶景を眺めたいなあと後ろ髪を引かれる思いで下山。まあ、仕方がないっす。登りとは違って景色を眺めながらなので歩くのが楽しい。

目の前にドーンと現れたのは櫛ヶ峰だ！夏は入山禁止らしいけど今なら登れるよと小俣さんがしきりに誘うが、オジサンはエネルギー切れを恐れるのでした。



時折 GPS で位置を確認しながらテン場まで無事帰還。行きは横をトラバースして登らなかった赤埴山を通り抜け、雪がないスキー場まで戻り無事終了。雪山を堪能した 2 日間でした。終わり

記録: いいだ